

過疎地域等における集落の状況に 関する現状把握調査結果の概要

平成23年4月

総務省地域力創造グループ過疎対策室

目次

<u>I 調査の概要</u>	
調査の概要	…… 1
用語の定義	…… 2
<u>II 過疎地域等の集落の現状</u>	
過疎地域等における集落数・人口・世帯数	…… 3
過疎地域等における集落数	…… 4
人口規模別集落数・世帯規模別集落数	…… 5
過疎地域等における集落の再編成の状況	…… 6
集落の高齢者割合	…… 7
圏域別にみた集落の役場までの距離	…… 9
集落規模別及び高齢者割合別にみた集落の特性	……10
集落機能の維持状況	……11
消滅の可能性のある集落の現状	……12
消滅集落関係	……13
今後の集落機能の維持・再編成の見通し	……18
集落での問題の発生状況	……19
過疎法改正に伴い新たに取組む集落対策に係るソフト事業の状況	……20
<u>III 前回調査（平成18年度実施）との比較</u>	
前回調査時からの人口の変化（地方ブロック別）	……21
前回調査時からの世帯数の変化（地方ブロック別）	……22
人口規模別集落数・世帯規模別集落数	……23
集落の高齢者割合	……24
前回調査時からの集落機能維持状況の変化	……25
今後の消滅可能性についての見通しの変化	……26
<u>IV 過疎地域等における集落の現状・今後の対策</u>	
過疎地域等における集落の現状・今後の対策	……27

調査の概要

1. 目的

- ・ 過疎法の改正や「集落支援員制度」の創設・運用等を踏まえ、過疎関係市町村における各集落の実態や集落機能の維持状況、消滅した集落の社会基盤等の維持・管理のための取組に関する状況や課題等を把握する。
- ・ 過去に同様の調査を行った平成11年度及び18年度の状況からの経年変化を把握する。
(以下、平成11年度に実施した調査を「前々回調査」、平成18年度に実施した調査を「前回調査」という。)

2. 調査対象

- ・ 平成22年4月時点の過疎地域等における集落とする。

※「過疎地域等」とは、

- 過疎地域自立促進特別措置法（平成12年法律第15号）における過疎関係市町村。
ただし、市町村の一部が過疎地域とみなされている場合（同法第33条第2項）には、その区域のみ。
- 過疎地域活性化特別措置法（平成2年法律第15号）における過疎関係市町村で、前々回調査において、対象とされていた地域。

3. 調査方法

- ・ 市町村に対するアンケート調査を実施。（回収率100%）

用語の定義

1. 「集落」

- ・本調査での「集落」とは、一定の土地に数戸以上の社会的まとまりが形成された、住民生活の基本的な地域単位であり、市町村行政において扱う行政区の基本単位（農業センサスにおける農業集落とは異なる）。

2. 「集落機能の維持・再編成」

- ・近隣の集落との統合・合併や全域的な行政区の変更、あるいは小学校区単位などでの新たな広域的組織の設立、中心集落への周辺基礎集落の移転など、複数の集落が集落機能の維持のために集落活動を行う枠組み（範囲）を再編成することを指す。

①行政的再編

- ・近隣の集落同士の統合・合併や中心集落への基礎集落の吸収、全域的な行政区の見直し・変更など、市町村行政において扱う行政区の区域を再編成する場合。

②機能の再編成

- ・小学校区単位などで複数集落が新たな広域的組織を形成し、集落機能の分担を図ったり、複数集落で自治会を統合するなど、機能面での再編成を図る場合。

③空間的移転

- ・ダム建設等の公共工事による集団移転など、集落が空間的に移転した場合。→「消滅」にも該当

3. 「消滅(した)集落」

- ・当該集落内が実態として無人化し、通年での居住者が存在せず、市町村行政においても、通常の行政サービスの提供を行う区域として取り扱わなくなった集落。
- ・財産管理上、住所は残していても、実態として当該集落内に生活の拠点を持っている住民がない場合は、「消滅集落」とみなす。
- ・集団移転による消滅、住民の自発的な転居等による自然消滅のいずれも含むが、空間的な移転を伴わず集落の再編成が行われた結果、旧来の集落名はなくなったものの実体として当該地域に居住者が存在する場合は、消滅集落とはみなさない。

過疎地域等における集落数・人口・世帯数

- 過疎地域等における平成22年4月時点の集落数は、64,954集落。
- 本調査の対象地域は、人口・世帯ベースで全国の約9%を占める。
- 地方ブロック別で見ると、北海道や東北圏、九州圏、四国圏では、対象地域で生活する人口・世帯が全体の2割を超えている。

圏域の人口及び世帯数

	過疎地域等の 集落数		過疎地域等の 人口		(参考)		過疎地域等の 世帯数		(参考)	
					圏域人口	圏域に 占める割合			圏域世帯数	圏域に 占める割合
1 北海道	3,957	(6.1%)	1,417,482	(11.9%)	5,520,894	(25.7%)	664,227	(14.2%)	2,654,310	(25.0%)
2 東北圏	14,072	(21.7%)	3,028,321	(25.5%)	11,807,599	(25.6%)	1,023,578	(21.9%)	4,397,115	(23.3%)
3 首都圏	2,508	(3.9%)	472,952	(4.0%)	42,617,162	(1.1%)	178,468	(3.8%)	18,686,476	(1.0%)
4 北陸圏	1,748	(2.7%)	233,452	(2.0%)	3,070,151	(7.6%)	81,289	(1.7%)	1,105,282	(7.4%)
5 中部圏	4,008	(6.2%)	684,879	(5.8%)	17,101,690	(4.0%)	254,807	(5.4%)	6,617,099	(3.9%)
6 近畿圏	3,154	(4.9%)	665,472	(5.6%)	20,651,987	(3.2%)	266,781	(5.7%)	8,857,627	(3.0%)
7 中国圏	12,694	(19.5%)	1,417,463	(11.9%)	7,578,545	(18.7%)	564,226	(12.1%)	3,153,032	(17.9%)
8 四国圏	7,216	(11.1%)	883,163	(7.4%)	4,040,003	(21.9%)	374,296	(8.0%)	1,711,017	(21.9%)
9 九州圏	15,308	(23.6%)	2,967,736	(25.0%)	13,263,653	(22.4%)	1,218,787	(26.0%)	5,620,992	(21.7%)
10 沖縄県	289	(0.4%)	116,795	(1.0%)	1,406,176	(8.3%)	53,262	(1.1%)	559,851	(9.5%)
合計	64,954	(100.0%)	11,887,715	(100.0%)	127,057,860	(9.4%)	4,679,721	(100.0%)	53,362,801	(8.8%)

圏域人口・世帯数はH22.3.31住民基本台帳、
過疎地域等の人口・世帯数は、市町村担当者の回答の合計による。

- 東北圏：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、新潟
- 首都圏：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨
- 北陸圏：富山、石川、福井
- 中部圏：長野、岐阜、静岡、愛知、三重
- 近畿圏：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
- 中国圏：鳥取、島根、岡山、広島、山口
- 四国圏：徳島、香川、愛媛、高知
- 九州圏：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島

過疎地域等における集落数

- 全体では総集落数は、増加。ただし、北海道、首都圏では、減少。
- 中部圏・近畿圏・首都圏・中国圏・四国圏では山間地の集落が多く、その他の地域では平地の集落が多い。
- 前回調査と比べて、「過疎法の改正による対象区域の拡大」や「市町村合併」により平地が増加したと考えられる。

地域区分別の集落数

	地域区分別集落数					計
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	
1 北海道	652 (16.5%)	975 (24.6%)	1,661 (42.0%)	571 (14.4%)	98 (2.5%)	3,957 (100.0%)
2 東北圏	3,406 (24.2%)	3,636 (25.8%)	5,473 (38.9%)	1,442 (10.2%)	115 (0.8%)	14,072 (100.0%)
3 首都圏	951 (37.9%)	824 (32.9%)	670 (26.7%)	63 (2.5%)	0 (0.0%)	2,508 (100.0%)
4 北陸圏	608 (34.8%)	388 (22.2%)	672 (38.4%)	80 (4.6%)	0 (0.0%)	1,748 (100.0%)
5 中部圏	2,233 (55.7%)	1,119 (27.9%)	554 (13.8%)	84 (2.1%)	18 (0.4%)	4,008 (100.0%)
6 近畿圏	1,408 (44.6%)	982 (31.1%)	573 (18.2%)	190 (6.0%)	1 (0.0%)	3,154 (100.0%)
7 中国圏	4,614 (36.3%)	4,206 (33.1%)	2,708 (21.3%)	1,135 (8.9%)	31 (0.2%)	12,694 (100.0%)
8 四国圏	2,599 (36.0%)	1,983 (27.5%)	2,111 (29.3%)	523 (7.2%)	0 (0.0%)	7,216 (100.0%)
9 九州圏	3,606 (23.6%)	4,661 (30.4%)	5,773 (37.7%)	1,148 (7.5%)	120 (0.8%)	15,308 (100.0%)
10 沖縄県	36 (12.5%)	56 (19.4%)	197 (68.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	289 (100.0%)
合計	20,113 (31.0%)	18,830 (29.0%)	20,392 (31.4%)	5,236 (8.1%)	383 (0.6%)	64,954 (100.0%)

同 (前回調査)

全体	地域区分別集落数					計
	山間地	中間地	平地	都市的地域	不明	
北海道	658 (16.5%)	1,013 (25.3%)	1,727 (43.2%)	515 (12.9%)	85 (2.1%)	3,998 (100.0%)
東北圏	3,186 (25.0%)	3,275 (25.7%)	4,936 (38.8%)	1,323 (10.4%)	7 (0.1%)	12,727 (100.0%)
首都圏	956 (38.1%)	782 (31.1%)	711 (28.3%)	62 (2.5%)	0 (0.0%)	2,511 (100.0%)
北陸圏	617 (36.9%)	381 (22.8%)	591 (35.3%)	80 (4.8%)	4 (0.2%)	1,673 (100.0%)
中部圏	2,250 (57.6%)	1,017 (26.1%)	474 (12.1%)	85 (2.2%)	77 (2.0%)	3,903 (100.0%)
近畿圏	1,379 (50.2%)	803 (29.2%)	432 (15.7%)	134 (4.9%)	1 (0.0%)	2,749 (100.0%)
中国圏	4,714 (37.6%)	4,110 (32.7%)	2,531 (20.2%)	1,139 (9.1%)	57 (0.5%)	12,551 (100.0%)
四国圏	2,619 (39.7%)	1,851 (28.1%)	1,634 (24.8%)	490 (7.4%)	1 (0.0%)	6,595 (100.0%)
九州圏	3,767 (24.7%)	4,654 (30.5%)	5,623 (36.8%)	1,110 (7.3%)	123 (0.8%)	15,277 (100.0%)
沖縄県	35 (12.1%)	55 (19.0%)	199 (68.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	289 (100.0%)
合計	20,181 (32.4%)	17,941 (28.8%)	18,858 (30.3%)	4,938 (7.9%)	355 (0.6%)	62,273 (100.0%)

(注)

- 山間地 : 山間農業地域。林野率が80%以上の集落。
- 中間地 : 中間農業地域。山間地と平地の中間にある集落。
- 平地 : 平地農業地域。林野率が50%未満でかつ耕地率20%以上の集落。
- 都市的地域 : 都市的地域。DID面積のある集落。

:各圏域において該当集落数の割合が最も大きい地域区分
 :各圏域において該当集落数の割合が2番目に大きい地域区分

人口規模別集落数・世帯規模別集落数

- 中国圏・四国圏には人口規模・世帯規模が小さな集落が多く、沖縄県には人口規模・世帯規模が大きな集落が多い。
- 前回調査と比べて、50人未満の小規模集落が増加している。

人口規模別集落数(圏域別)

	集落の人口規模(人)									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
北海道	115 (2.9%)	317 (8.0%)	660 (16.7%)	802 (20.3%)	789 (19.9%)	698 (17.6%)	296 (7.5%)	259 (6.5%)	21 (0.5%)	3,957 (100.0%)
東北圏	225 (1.6%)	564 (4.0%)	1,388 (9.9%)	3,324 (23.6%)	4,069 (28.9%)	3,373 (24.0%)	848 (6.0%)	273 (1.9%)	8 (0.1%)	14,072 (100.0%)
首都圏	27 (1.1%)	133 (5.3%)	346 (13.8%)	551 (22.0%)	561 (22.4%)	474 (18.9%)	127 (5.1%)	58 (2.3%)	231 (9.2%)	2,508 (100.0%)
北陸圏	75 (4.3%)	137 (7.8%)	229 (13.1%)	506 (28.9%)	495 (28.3%)	245 (14.0%)	57 (3.3%)	4 (0.2%)	0 (0.0%)	1,748 (100.0%)
中部圏	157 (3.9%)	338 (8.4%)	660 (16.5%)	949 (23.7%)	945 (23.6%)	710 (17.7%)	187 (4.7%)	61 (1.5%)	1 (0.0%)	4,008 (100.0%)
近畿圏	76 (2.4%)	208 (6.6%)	402 (12.7%)	700 (22.2%)	908 (28.8%)	637 (20.2%)	153 (4.9%)	65 (2.1%)	5 (0.2%)	3,154 (100.0%)
中国圏	483 (3.8%)	1,642 (12.9%)	3,285 (25.9%)	3,596 (28.3%)	2,131 (16.8%)	1,052 (8.3%)	299 (2.4%)	104 (0.8%)	102 (0.8%)	12,694 (100.0%)
四国圏	372 (5.2%)	776 (10.8%)	1,543 (21.4%)	1,952 (27.1%)	1,515 (21.0%)	846 (11.7%)	142 (2.0%)	63 (0.9%)	7 (0.1%)	7,216 (100.0%)
九州圏	268 (1.8%)	1,013 (6.6%)	2,130 (13.9%)	3,561 (23.3%)	3,947 (25.8%)	3,198 (20.9%)	867 (5.7%)	281 (1.8%)	43 (0.3%)	15,308 (100.0%)
沖縄県	3 (1.0%)	2 (0.7%)	6 (2.1%)	22 (7.6%)	64 (22.1%)	118 (40.8%)	53 (18.3%)	21 (7.3%)	0 (0.0%)	289 (100.0%)
全国	1,801 (2.8%)	5,130 (7.9%)	10,649 (16.4%)	15,963 (24.6%)	15,424 (23.7%)	11,351 (17.5%)	3,029 (4.7%)	1,189 (1.8%)	418 (0.6%)	64,954 (100.0%)

 : 各圏域において該当割合が最も大きい人口規模
 : 各圏域において該当割合が2番目に大きい人口規模

前回	1,564 (2.5%)	4,492 (7.2%)	9,869 (15.8%)	15,484 (24.9%)	15,075 (24.2%)	11,251 (18.1%)	2,965 (4.8%)	1,093 (1.8%)	480 (0.8%)	62,273 (100.0%)
比較	+ 237	+ 638	+ 780	+ 479	+ 349	+ 100	+ 64	+ 96	- 62	+ 2,681
H18-H22	+0.3pts	+0.7pts	+0.5pts	-0.3pts	-0.5pts	-0.6pts	-0.1pts	+0.1pts		

世帯規模別集落数(圏域別)

	集落の世帯規模(世帯)									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
北海道	433 (10.9%)	672 (17.0%)	448 (11.3%)	546 (13.8%)	661 (16.7%)	487 (12.3%)	402 (10.2%)	252 (6.4%)	56 (1.4%)	3,957 (100.0%)
東北圏	907 (6.4%)	2,028 (14.4%)	2,065 (14.7%)	2,962 (21.0%)	3,142 (22.3%)	1,676 (11.9%)	775 (5.5%)	149 (1.1%)	368 (2.6%)	14,072 (100.0%)
首都圏	157 (6.3%)	386 (15.4%)	339 (13.5%)	457 (18.2%)	449 (17.9%)	320 (12.8%)	134 (5.3%)	35 (1.4%)	231 (9.2%)	2,508 (100.0%)
北陸圏	193 (11.0%)	314 (18.0%)	309 (17.7%)	416 (23.8%)	353 (20.2%)	128 (7.3%)	31 (1.8%)	4 (0.2%)	0 (0.0%)	1,748 (100.0%)
中部圏	445 (11.1%)	729 (18.2%)	603 (15.0%)	812 (20.3%)	818 (20.4%)	373 (9.3%)	197 (4.9%)	30 (0.7%)	1 (0.0%)	4,008 (100.0%)
近畿圏	198 (6.3%)	417 (13.2%)	455 (14.4%)	674 (21.4%)	788 (25.0%)	394 (12.5%)	176 (5.6%)	47 (1.5%)	5 (0.2%)	3,154 (100.0%)
中国圏	1,901 (15.0%)	3,584 (28.2%)	2,251 (17.7%)	2,133 (16.8%)	1,493 (11.8%)	678 (5.3%)	333 (2.6%)	80 (0.6%)	241 (1.9%)	12,694 (100.0%)
四国圏	876 (12.1%)	1,575 (21.8%)	1,260 (17.5%)	1,375 (19.1%)	1,239 (17.2%)	568 (7.9%)	205 (2.8%)	45 (0.6%)	73 (1.0%)	7,216 (100.0%)
九州圏	1,101 (7.2%)	2,091 (13.7%)	1,951 (12.7%)	3,146 (20.6%)	3,643 (23.8%)	2,136 (14.0%)	992 (6.5%)	180 (1.2%)	68 (0.4%)	15,308 (100.0%)
沖縄県	3 (1.0%)	5 (1.7%)	6 (2.1%)	23 (8.0%)	70 (24.2%)	86 (29.8%)	83 (28.7%)	13 (4.5%)	0 (0.0%)	289 (100.0%)
全国	6,214 (9.6%)	11,801 (18.2%)	9,687 (14.9%)	12,544 (19.3%)	12,656 (19.5%)	6,846 (10.5%)	3,328 (5.1%)	835 (1.3%)	1,043 (1.6%)	64,954 (100.0%)

 : 各圏域において該当割合が最も大きい世帯規模
 : 各圏域において該当割合が2番目に大きい世帯規模

前回	6,018 (9.7%)	11,760 (18.9%)	9,471 (15.2%)	12,177 (19.6%)	12,152 (19.5%)	6,365 (10.2%)	3,053 (4.9%)	692 (1.1%)	585 (0.9%)	62,273 (100.0%)
比較	+ 196	+ 41	+ 216	+ 367	+ 504	+ 481	+ 275	+ 143	+ 458	+ 2,681
H18-H22	-0.0pts	-0.6pts	-0.2pts	-0.1pts	+0.1pts	+0.4pts	+0.3pts	+0.2pts		

※ 前回との比較においては、「無回答」を除いたシェアの増減を表記している。

過疎地域等における集落の再編成の状況

- 回答のあった集落のうち、約4%が何らかの形で集落を再編成している。
- 前回調査からの4年の間に93の集落が消滅した。
- 集落の再編成の状況は圏域ごとに大きく異なる。

集落の再編成の状況

	再編の有無 (H22)									再編率	前回調査以降 消滅した集落
	他を統合	他に編入	他と合併	再編なし	新規誕生	分離	名称変更	無回答	総計		
北海道	10 (0.2%)	22 (0.5%)	127 (3.1%)	3,811 (92.8%)	34 (0.8%)	7 (0.2%)	59 (1.4%)	36 (0.9%)	4,106 (100.0%)	5.5%	7
東北圏	25 (0.2%)	36 (0.3%)	98 (0.7%)	13,897 (97.8%)	110 (0.8%)	26 (0.2%)	14 (0.1%)	0 (0.0%)	14,206 (100.0%)	1.4%	20
首都圏	8 (0.3%)	186 (6.8%)	36 (1.3%)	2,399 (87.9%)	35 (1.3%)	8 (0.3%)	18 (0.7%)	40 (1.5%)	2,730 (100.0%)	9.4%	2
北陸圏	4 (0.2%)	5 (0.3%)	1 (0.1%)	1,740 (99.2%)	1 (0.1%)	3 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1,754 (100.0%)	0.7%	4
中部圏	14 (0.3%)	19 (0.4%)	239 (5.6%)	3,910 (91.7%)	70 (1.6%)	1 (0.0%)	13 (0.3%)	0 (0.0%)	4,266 (100.0%)	6.7%	9
近畿圏	0 (0.0%)	2 (0.1%)	0 (0.0%)	3,036 (96.2%)	118 (3.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3,156 (100.0%)	0.1%	4
中国圏	33 (0.2%)	94 (0.7%)	566 (4.2%)	12,220 (91.1%)	329 (2.5%)	6 (0.0%)	65 (0.5%)	98 (0.7%)	13,411 (100.0%)	5.7%	17
四国圏	9 (0.1%)	12 (0.2%)	236 (3.2%)	7,141 (95.7%)	60 (0.8%)	2 (0.0%)	4 (0.1%)	0 (0.0%)	7,464 (100.0%)	3.5%	13
九州圏	50 (0.3%)	135 (0.8%)	459 (2.9%)	14,802 (93.1%)	171 (1.1%)	20 (0.1%)	15 (0.1%)	250 (1.6%)	15,902 (100.0%)	4.3%	17
沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	289 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	289 (100.0%)	0%	0
総計	153 (0.2%)	511 (0.8%)	1,762 (2.6%)	63,245 (94.0%)	928 (1.4%)	73 (0.1%)	188 (0.3%)	424 (0.6%)	67,284 (100.0%)	4.0%	93
うち、居住者の いる集落	153	0	0	63,245	928	73	188	367	64,954		

※再編率: 全集落に対する、他を統合、他に編入、他と合併、分離、名称変更の和の割合

集落の高齢者割合1

- 人口の過半が高齢者である集落は、前回調査時よりも増加した。
- 数としては中国圏・九州圏・四国圏が多いが、占める割合は四国圏・中部圏・中国圏において高い。
- 前回、前々回調査と比べて、全体的に高齢者が過半を占める集落の割合は高まっているが、特に中部圏や北陸圏で割合が高まっている。

集落における高齢者(65歳以上)割合別分類

	集落人口に対する高齢者(65歳以上)割合					前回調査 (高齢者割合 50%以上)	
	50%以上	うち100%		50%未満	無回答		合計
		人数	割合				
北海道	462 (11.7%)	24 (0.6%)	3,307 (83.6%)	188 (4.8%)	3,957 (100.0%)	319 (8.0%)	
東北圏	1,027 (7.3%)	65 (0.5%)	12,866 (91.4%)	179 (1.3%)	14,072 (100.0%)	736 (5.8%)	
首都圏	312 (12.4%)	12 (0.5%)	1,762 (70.3%)	434 (17.3%)	2,508 (100.0%)	302 (12.0%)	
北陸圏	324 (18.5%)	32 (1.8%)	1,424 (81.5%)	0 (0.0%)	1,748 (100.0%)	216 (12.9%)	
中部圏	875 (21.8%)	42 (1.0%)	3,086 (77.0%)	47 (1.2%)	4,008 (100.0%)	613 (15.7%)	
近畿圏	561 (17.8%)	27 (0.9%)	2,525 (80.1%)	68 (2.2%)	3,154 (100.0%)	417 (15.2%)	
中国圏	2,672 (21.0%)	154 (1.2%)	9,822 (77.4%)	200 (1.6%)	12,694 (100.0%)	2,270 (18.1%)	
四国圏	1,750 (24.3%)	126 (1.7%)	5,286 (73.3%)	180 (2.5%)	7,216 (100.0%)	1,357 (20.6%)	
九州圏	2,094 (13.7%)	93 (0.6%)	12,921 (84.4%)	293 (1.9%)	15,308 (100.0%)	1,635 (10.7%)	
沖縄県	14 (4.8%)	0 (0.0%)	266 (92.0%)	9 (3.1%)	289 (100.0%)	13 (4.5%)	
合計	10,091 (15.5%)	575 (0.9%)	53,265 (82.0%)	1,598 (2.5%)	64,954 (100.0%)	7,878 (12.7%)	

- : 各高齢者割合において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック
- : 各高齢者割合において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

前回調査との比較

		集落人口に対する高齢者(65歳以上)割合			
		50%以上	50%未満	不明	計
北海道	H22	11.7%	83.6%	4.8%	100.0%
	H18	8.0%	84.2%	7.8%	100.0%
	H11	3.9%	96.1%	-	100.0%
東北圏	H22	7.3%	91.4%	1.3%	100.0%
	H18	5.8%	94.2%	0.1%	100.0%
	H11	2.2%	97.8%	-	100.0%
首都圏	H22	12.4%	70.3%	17.3%	100.0%
	H18	12.0%	65.5%	22.5%	100.0%
	H11	6.9%	93.1%	-	100.0%
北陸圏	H22	18.5%	81.5%	0.0%	100.0%
	H18	12.9%	86.1%	1.0%	100.0%
	H11	9.5%	90.5%	-	100.0%
中部圏	H22	21.8%	77.0%	1.2%	100.0%
	H18	15.7%	72.1%	12.2%	100.0%
	H11	9.0%	91.0%	-	100.0%
近畿圏	H22	17.8%	80.1%	2.2%	100.0%
	H18	15.2%	81.1%	3.7%	100.0%
	H11	12.9%	87.1%	-	100.0%
中国圏	H22	21.0%	77.4%	1.6%	100.0%
	H18	18.1%	80.1%	1.8%	100.0%
	H11	11.8%	88.2%	-	100.0%
四国圏	H22	24.3%	73.3%	2.5%	100.0%
	H18	20.6%	76.5%	2.9%	100.0%
	H11	12.0%	88.0%	-	100.0%
九州圏	H22	13.7%	84.4%	1.9%	100.0%
	H18	10.7%	87.0%	2.3%	100.0%
	H11	5.5%	94.5%	-	100.0%
沖縄県	H22	4.8%	92.0%	3.1%	100.0%
	H18	4.5%	83.4%	12.1%	100.0%
	H11	2.6%	97.4%	-	100.0%
全国	H22	15.5%	82.0%	2.5%	100.0%
	H18	12.7%	83.7%	3.7%	100.0%
	H11	7.5%	92.5%	-	100.0%

集落の高齢者割合2

○高齢者割合が50%以上の集落は全体の15.5%(10,091集落)を占めており、そのうち575集落(0.9%)では集落住民全員が65歳以上の高齢者である。

○575集落のうち75歳以上の高齢者の占める割合をみると、全員が75歳以上の高齢者である集落が205集落、半数以上が75歳以上の集落が283集落である。

	高齢者(65歳以上人口及び75歳以上人口)割合										合計	
	[65歳以上] 100%				[65歳以上] 50%以上100%未満				[65歳以上] 25%以上50%未満	[65歳以上] 25%未満		無回答
	[75歳以上] 100%	[75歳以上] 50%以上	[75歳以上] 50%未満		[75歳以上] 50%以上	[75歳以上] 50%未満						
1 北海道	8 (0.2%)	12 (0.3%)	4 (0.1%)	24 (0.6%)	45 (1.1%)	393 (9.9%)	438 (11.1%)	2,622 (66.3%)	685 (17.3%)	188 (4.8%)	3,957 (100.0%)	
2 東北圏	27 (0.2%)	28 (0.2%)	10 (0.1%)	65 (0.5%)	139 (1.0%)	823 (5.8%)	962 (6.8%)	11,193 (79.5%)	1,673 (11.9%)	179 (1.3%)	14,072 (100.0%)	
3 首都圏	3 (0.1%)	9 (0.4%)	0 (0.0%)	12 (0.5%)	73 (2.9%)	227 (9.1%)	300 (12.0%)	1,468 (58.5%)	294 (11.7%)	434 (17.3%)	2,508 (100.0%)	
4 北陸圏	14 (0.8%)	14 (0.8%)	4 (0.2%)	32 (1.8%)	51 (2.9%)	241 (13.8%)	292 (16.7%)	1,223 (70.0%)	201 (11.5%)	0 (0.0%)	1,748 (100.0%)	
5 中部圏	20 (0.5%)	9 (0.2%)	13 (0.3%)	42 (1.0%)	157 (3.9%)	676 (16.9%)	833 (20.8%)	2,701 (67.4%)	385 (9.6%)	47 (1.2%)	4,008 (100.0%)	
6 近畿圏	11 (0.3%)	11 (0.3%)	5 (0.2%)	27 (0.9%)	136 (4.3%)	398 (12.6%)	534 (16.9%)	2,228 (70.6%)	297 (9.4%)	68 (2.2%)	3,154 (100.0%)	
7 中国圏	53 (0.4%)	85 (0.7%)	16 (0.1%)	154 (1.2%)	503 (4.0%)	2,015 (15.9%)	2,518 (19.8%)	8,211 (64.7%)	1,611 (12.7%)	200 (1.6%)	12,694 (100.0%)	
8 四国圏	47 (0.7%)	61 (0.8%)	18 (0.2%)	126 (1.7%)	393 (5.4%)	1,231 (17.1%)	1,624 (22.5%)	4,415 (61.2%)	871 (12.1%)	180 (2.5%)	7,216 (100.0%)	
9 九州圏	22 (0.1%)	54 (0.4%)	17 (0.1%)	93 (0.6%)	297 (1.9%)	1,704 (11.1%)	2,001 (13.1%)	10,704 (69.9%)	2,217 (14.5%)	293 (1.9%)	15,308 (100.0%)	
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (1.4%)	10 (3.5%)	14 (4.8%)	147 (50.9%)	119 (41.2%)	9 (3.1%)	289 (100.0%)	
合計	205 (0.3%)	283 (0.4%)	87 (0.1%)	575 (0.9%)	1,798 (2.8%)	7,718 (11.9%)	9,516 (14.7%)	44,912 (69.1%)	8,353 (12.9%)	1,598 (2.5%)	64,954 (100.0%)	

■:各高齢者割合において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック

■:各高齢者割合において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

圏域別にみた集落の役場までの距離

- 中部圏・中国圏・近畿圏・北陸圏では役場までの距離が20km以上である集落の占める割合が高い。
- 前回調査と比較して、役場から20km以上離れている集落の割合が減り、4km以下が増えている。

圏域別・役場(本庁)までの距離別集落数

	本庁までの距離別集落数					計
	～4km	5～9km	10～19km	20km～	無回答	
1 北海道	1,672 (42.3%)	891 (22.5%)	781 (19.7%)	524 (13.2%)	89 (2.2%)	3,957 (100.0%)
2 東北圏	4,083 (29.0%)	3,343 (23.8%)	3,974 (28.2%)	2,622 (18.6%)	50 (0.4%)	14,072 (100.0%)
3 首都圏	583 (23.2%)	763 (30.4%)	817 (32.6%)	313 (12.5%)	32 (1.3%)	2,508 (100.0%)
4 北陸圏	455 (26.0%)	434 (24.8%)	440 (25.2%)	419 (24.0%)	0 (0.0%)	1,748 (100.0%)
5 中部圏	1,052 (26.2%)	647 (16.1%)	951 (23.7%)	1,357 (33.9%)	1 (0.0%)	4,008 (100.0%)
6 近畿圏	800 (25.4%)	634 (20.1%)	899 (28.5%)	818 (25.9%)	3 (0.1%)	3,154 (100.0%)
7 中国圏	2,714 (21.4%)	2,554 (20.1%)	3,649 (28.7%)	3,562 (28.1%)	215 (1.7%)	12,694 (100.0%)
8 四国圏	2,703 (37.5%)	1,414 (19.6%)	1,685 (23.4%)	1,412 (19.6%)	2 (0.0%)	7,216 (100.0%)
9 九州圏	5,072 (33.1%)	3,558 (23.2%)	4,007 (26.2%)	2,510 (16.4%)	161 (1.1%)	15,308 (100.0%)
10 沖縄県	156 (54.0%)	74 (25.6%)	34 (11.8%)	25 (8.7%)	0 (0.0%)	289 (100.0%)
合計	19,290 (29.7%)	14,312 (22.0%)	17,237 (26.5%)	13,562 (20.9%)	553 (0.9%)	64,954 (100.0%)

参考: 前回調査	17,995 (28.9%)	13,541 (21.7%)	16,918 (27.2%)	13,475 (21.6%)	344 (0.6%)	62,273 (100.0%)
-------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	---------------	--------------------

参考: 前々回調査	24,581 (50.5%)	14,518 (29.8%)	7,776 (16.0%)	1,394 (2.9%)	420 (0.9%)	48,689 (100.0%)
--------------	-------------------	-------------------	------------------	-----------------	---------------	--------------------

- :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック
- :各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

集落規模別及び高齢者割合別にみた集落の特性

○20世帯未満の小規模集落及び高齢者割合が50%以上の集落ほど本庁までの距離が遠く、山間地及び地形的に末端である傾向が強い。

集落規模別にみた集落の特性

		集落の世帯規模(世帯)				計
		～9	10～19	20～	無回答	
本庁までの距離	20km以上	2,187 (16.1%)	3,313 (24.4%)	7,868 (58.0%)	194 (1.4%)	13,562 (100.0%)
	20km未満	3,957 (7.8%)	8,388 (16.5%)	37,715 (74.2%)	779 (1.5%)	50,839 (100.0%)
	無回答	70 (12.7%)	100 (18.1%)	313 (56.6%)	70 (12.7%)	553 (100.0%)
	合計	6,214 (9.6%)	11,801 (18.2%)	45,896 (70.7%)	1,043 (1.6%)	64,954 (100.0%)
地域区分	山間地	3,751 (18.6%)	5,490 (27.3%)	10,653 (53.0%)	219 (1.1%)	20,113 (100.0%)
	中間地	1,370 (7.3%)	3,458 (18.4%)	13,712 (72.8%)	290 (1.5%)	18,830 (100.0%)
	平地	926 (4.5%)	2,477 (12.1%)	16,588 (81.3%)	401 (2.0%)	20,392 (100.0%)
	都市的地域	154 (2.9%)	355 (6.8%)	4,634 (88.5%)	93 (1.8%)	5,236 (100.0%)
	無回答	13 (3.4%)	21 (5.5%)	309 (80.7%)	40 (10.4%)	383 (100.0%)
	合計	6,214 (9.6%)	11,801 (18.2%)	45,896 (70.7%)	1,043 (1.6%)	64,954 (100.0%)
地形	地形的末端である	1,150 (29.0%)	1,051 (26.5%)	1,717 (43.2%)	53 (1.3%)	3,971 (100.0%)
	地形的末端でない	5,064 (8.3%)	10,750 (17.6%)	44,179 (72.4%)	990 (1.6%)	60,983 (100.0%)
	合計	6,214 (9.6%)	11,801 (18.2%)	45,896 (70.7%)	1,043 (1.6%)	64,954 (100.0%)

■ :各世帯規模において該当集落数の割合が最も大きい区分

高齢者割合別にみた集落の特性

		高齢者(65歳以上)割合の区分別			合計
		50%以上	50%未満	不明	
本庁までの距離	20km以上	3,908 (28.8%)	9,196 (67.8%)	458 (3.4%)	13,562 (100.0%)
	20km未満	6,086 (12.0%)	43,731 (86.0%)	1,022 (2.0%)	50,839 (100.0%)
	無回答	97 (17.5%)	338 (61.1%)	118 (21.3%)	553 (100.0%)
	合計	10,091 (15.5%)	53,265 (82.0%)	1,598 (2.5%)	64,954 (100.0%)
地域区分	山間地	6,118 (30.4%)	13,579 (67.5%)	416 (2.1%)	20,113 (100.0%)
	中間地	2,379 (12.6%)	15,885 (84.4%)	566 (3.0%)	18,830 (100.0%)
	平地	1,321 (6.5%)	18,539 (90.9%)	532 (2.6%)	20,392 (100.0%)
	都市的地域	249 (4.8%)	4,962 (94.8%)	25 (0.5%)	5,236 (100.0%)
	無回答	24 (6.3%)	300 (78.3%)	59 (15.4%)	383 (100.0%)
	合計	10,091 (15.5%)	53,265 (82.0%)	1,598 (2.5%)	64,954 (100.0%)
地形	地形的末端である	1,569 (39.5%)	2,319 (58.4%)	83 (2.1%)	3,971 (100.0%)
	地形的末端でない	8,522 (14.0%)	50,946 (83.5%)	1,515 (2.5%)	60,983 (100.0%)
	合計	10,091 (15.5%)	53,265 (82.0%)	1,598 (2.5%)	64,954 (100.0%)

■ :各高齢者割合において該当集落数の割合が最も大きい区分

集落機能の維持状況

- 東北圏や九州圏では集落機能が良好に維持されている集落が約9割と大部分を占めているのに対して、中部圏や四国圏では「機能低下」もしくは「機能維持困難」という集落の割合が他に比べて高い。
- 小規模集落や条件の厳しい集落で維持が困難となっている状況がみられる。

地方ブロック別集落機能の維持状況

	集落機能の維持状況				計
	良好	機能低下	機能維持困難	無回答	
1 北海道	3,422 (86.5%)	377 (9.5%)	146 (3.7%)	12 (0.3%)	3,957 (100.0%)
2 東北圏	12,502 (88.8%)	888 (6.3%)	221 (1.6%)	461 (3.3%)	14,072 (100.0%)
3 首都圏	2,082 (83.0%)	224 (8.9%)	162 (6.5%)	40 (1.6%)	2,508 (100.0%)
4 北陸圏	1,533 (87.7%)	127 (7.3%)	85 (4.9%)	3 (0.2%)	1,748 (100.0%)
5 中部圏	2,949 (73.6%)	777 (19.4%)	236 (5.9%)	46 (1.1%)	4,008 (100.0%)
6 近畿圏	2,527 (80.1%)	392 (12.4%)	234 (7.4%)	1 (0.0%)	3,154 (100.0%)
7 中国圏	10,210 (80.4%)	1,770 (13.9%)	644 (5.1%)	70 (0.6%)	12,694 (100.0%)
8 四国圏	5,586 (77.4%)	1,160 (16.1%)	469 (6.5%)	1 (0.0%)	7,216 (100.0%)
9 九州圏	13,471 (88.0%)	1,297 (8.5%)	482 (3.1%)	58 (0.4%)	15,308 (100.0%)
10 沖縄県	252 (87.2%)	32 (11.1%)	4 (1.4%)	1 (0.3%)	289 (100.0%)
合計	54,534 (84.0%)	7,044 (10.8%)	2,683 (4.1%)	693 (1.1%)	64,954 (100.0%)

- :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック
- :各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

集落特性別集落機能の維持状況

		集落機能の維持状況				計
		良好	機能低下	機能維持困難	無回答	
世帯数	～9	3,060 (49.2%)	1,612 (25.9%)	1,511 (24.3%)	31 (0.5%)	6,214 (100.0%)
	10～19	9,054 (76.7%)	2,101 (17.8%)	609 (5.2%)	37 (0.3%)	11,801 (100.0%)
	20～	41,842 (91.2%)	3,291 (7.2%)	558 (1.2%)	205 (0.4%)	45,896 (100.0%)
高齢者割合	50%以上	5,842 (57.9%)	2,585 (25.6%)	1,616 (16.0%)	48 (0.5%)	10,091 (100.0%)
	50%未満	47,445 (89.1%)	4,301 (8.1%)	945 (1.8%)	574 (1.1%)	53,265 (100.0%)
本庁までの距離	20km以上	10,018 (73.9%)	2,252 (16.6%)	1,193 (8.8%)	99 (0.7%)	13,562 (100.0%)
	20km未満	44,133 (86.8%)	4,708 (9.3%)	1,474 (2.9%)	524 (1.0%)	50,839 (100.0%)
地域区分	山間地	13,975 (69.5%)	3,964 (19.7%)	2,018 (10.0%)	156 (0.8%)	20,113 (100.0%)
	中間地	16,136 (85.7%)	2,019 (10.7%)	466 (2.5%)	209 (1.1%)	18,830 (100.0%)
	平地	19,235 (94.3%)	811 (4.0%)	170 (0.8%)	176 (0.9%)	20,392 (100.0%)
	都市的地域	4,898 (93.5%)	219 (4.2%)	23 (0.4%)	96 (1.8%)	5,236 (100.0%)
地形	地形的末端である	2,349 (59.2%)	855 (21.5%)	735 (18.5%)	32 (0.8%)	3,971 (100.0%)
	地形的末端でない	52,185 (85.6%)	6,189 (10.1%)	1,948 (3.2%)	661 (1.1%)	60,983 (100.0%)
合計		54,534 (84.0%)	7,044 (10.8%)	2,683 (4.1%)	693 (1.1%)	64,954 (100.0%)

- :各集落機能維持状況において該当集落数の割合が最も大きい区分

消滅の可能性がある集落の現状

- 10年以内に消滅の可能性がある集落の割合が、四国圏(1.8%)、北陸圏と中部圏(ともに1.2%)で比較的高い。逆に、沖縄県では消滅の可能性はないとみられている集落がほぼ全てを占めている。
- 今後消滅の可能性がある集落は、集落規模が小さい集落、高齢者割合が高い集落、山間地にある集落において多く存在している。

地方ブロック別の今後の消滅の可能性

	今後の消滅の可能性				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	消滅の可能性はなし	無回答	
1 北海道	20 (0.5%)	182 (4.6%)	3,426 (86.6%)	329 (8.3%)	3,957 (100.0%)
2 東北圏	55 (0.4%)	343 (2.4%)	12,170 (86.5%)	1,504 (10.7%)	14,072 (100.0%)
3 首都圏	18 (0.7%)	80 (3.2%)	2,056 (82.0%)	354 (14.1%)	2,508 (100.0%)
4 北陸圏	21 (1.2%)	51 (2.9%)	1,226 (70.1%)	450 (25.7%)	1,748 (100.0%)
5 中部圏	50 (1.2%)	265 (6.6%)	2,595 (64.7%)	1,098 (27.4%)	4,008 (100.0%)
6 近畿圏	25 (0.8%)	194 (6.2%)	2,355 (74.7%)	580 (18.4%)	3,154 (100.0%)
7 中国圏	82 (0.6%)	445 (3.5%)	10,910 (85.9%)	1,257 (9.9%)	12,694 (100.0%)
8 四国圏	129 (1.8%)	431 (6.0%)	6,217 (86.2%)	439 (6.1%)	7,216 (100.0%)
9 九州圏	53 (0.3%)	349 (2.3%)	12,958 (84.6%)	1,948 (12.7%)	15,308 (100.0%)
10 沖縄県	1 (0.3%)	2 (0.7%)	285 (98.6%)	1 (0.3%)	289 (100.0%)
合計	454 (0.7%)	2,342 (3.6%)	54,198 (83.4%)	7,960 (12.3%)	64,954 (100.0%)

- :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック
- :各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

集落特性別の今後の消滅の可能性

		今後の消滅の可能性				計
		10年以内に消滅	いずれ消滅	消滅の可能性はなし	無回答	
世帯数	～9	399 (6.4%)	1,446 (23.3%)	3,942 (63.4%)	427 (6.9%)	6,214 (100.0%)
	10～19	40 (0.3%)	547 (4.6%)	9,688 (82.1%)	1,526 (12.9%)	11,801 (100.0%)
	20～	13 (0.0%)	347 (0.8%)	40,119 (87.4%)	5,417 (11.8%)	45,896 (100.0%)
高齢者割合	50%以上	357 (3.5%)	1,476 (14.6%)	7,025 (69.6%)	1,233 (12.2%)	10,091 (100.0%)
	50%未満	92 (0.2%)	773 (1.5%)	45,900 (86.2%)	6,500 (12.2%)	53,265 (100.0%)
本庁までの距離	20km以上	225 (1.7%)	935 (6.9%)	10,867 (80.1%)	1,535 (11.3%)	13,562 (100.0%)
	20km未満	227 (0.4%)	1,399 (2.8%)	42,944 (84.5%)	6,269 (12.3%)	50,839 (100.0%)
地域区分	山間地	385 (1.9%)	1,804 (9.0%)	15,782 (78.5%)	2,142 (10.6%)	20,113 (100.0%)
	中間地	45 (0.2%)	390 (2.1%)	15,501 (82.3%)	2,894 (15.4%)	18,830 (100.0%)
	平地	17 (0.1%)	121 (0.6%)	17,899 (87.8%)	2,355 (11.5%)	20,392 (100.0%)
	都市的地域	6 (0.1%)	19 (0.4%)	4,751 (90.7%)	460 (8.8%)	5,236 (100.0%)
地形	地形的末端である	177 (4.5%)	717 (18.1%)	2,700 (68.0%)	377 (9.5%)	3,971 (100.0%)
	地形的	277 (0.5%)	1,625 (2.7%)	51,498 (84.4%)	7,583 (12.4%)	60,983 (100.0%)
合計		454 (0.7%)	2,342 (3.6%)	54,198 (83.4%)	7,960 (12.3%)	64,954 (100.0%)

- :各消滅可能性において該当集落数の割合が最も大きい区分

消滅した集落の消滅理由

○前回調査以降に消滅した93集落については、消滅理由の約7割が「自然消滅」となっており、特に東北圏、九州圏、四国圏でその件数が多い。

消滅集落の消滅理由

	消滅理由							計	全集落数
	集団移転事業 による移転	公共事業 による移転	廃坑による 廃村等	自然災害 による分散転居	自然消滅	その他	無回答		
1 北海道	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (85.7%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	7 (100.0%)	3,957
2 東北圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (10.0%)	14 (70.0%)	3 (15.0%)	1 (5.0%)	20 (100.0%)	14,072
3 首都圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	2,508
4 北陸圏	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)	1,748
5 中部圏	0 (0.0%)	3 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (100.0%)	4,008
6 近畿圏	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)	3,154
7 中国圏	0 (0.0%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (52.9%)	4 (23.5%)	3 (17.6%)	17 (100.0%)	12,694
8 四国圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (84.6%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	13 (100.0%)	7,216
9 九州圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)	14 (82.4%)	2 (11.8%)	0 (0.0%)	17 (100.0%)	15,308
10 沖縄県	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	289
合計	0 (0.0%)	6 (6.5%)	0 (0.0%)	3 (3.2%)	66 (71.0%)	13 (14.0%)	5 (5.4%)	93 (100.0%)	64,954

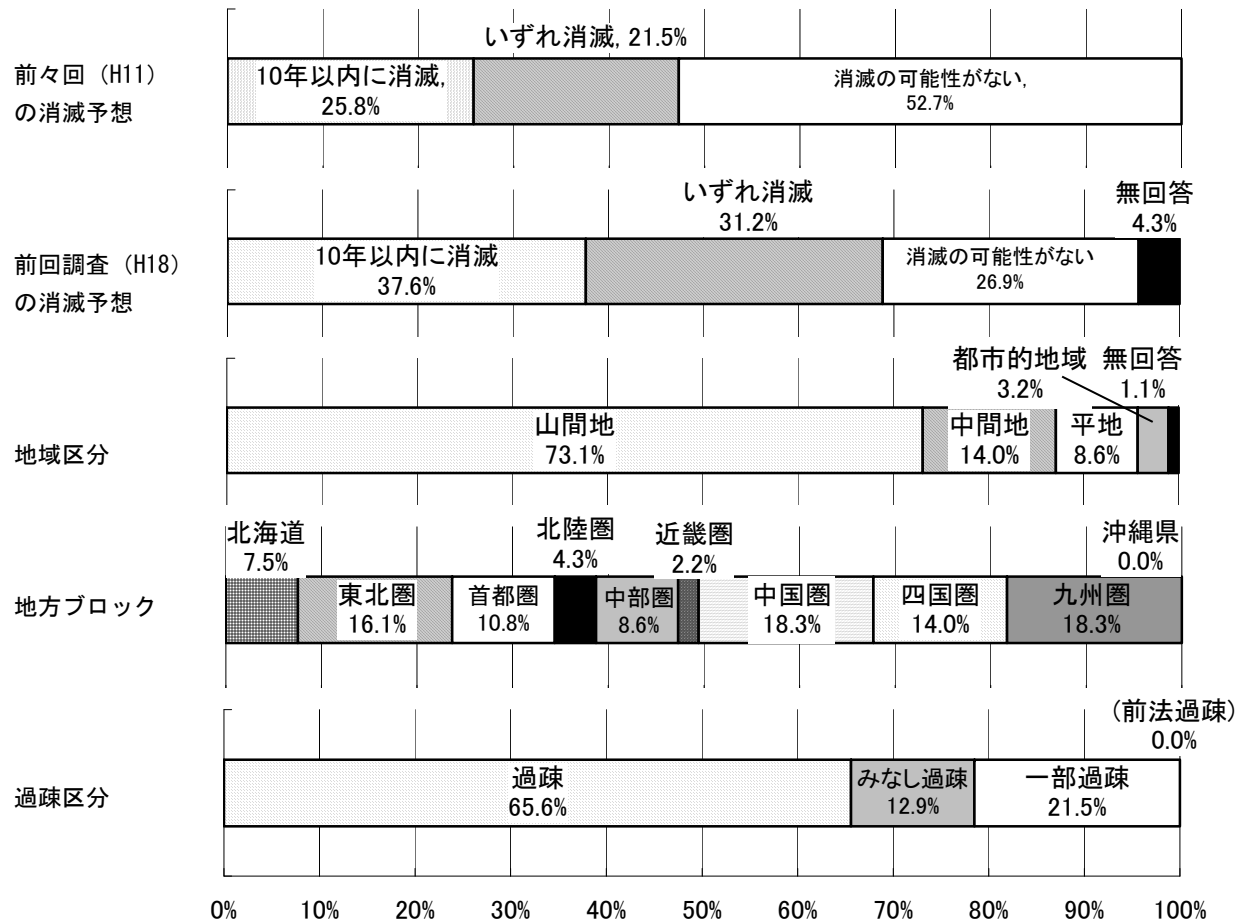
■ : 各消滅理由に応じて該当集落数の割合が最も高い区分

※「その他の理由」: 公営住宅の解体、企業の事業縮減に伴う社員住宅の取り壊し、高齢により移転、住宅の解体に伴う集落の消滅、住宅の取り壊しにより町内に転居、牧場の閉鎖等

消滅集落の特性

○平成18年以降に消滅した集落の特性をみると、「消滅の可能性がない」と予測されていた集落の中にも消滅したものもある。

消滅した集落の特性



※ 93集落の属性

消滅した集落の跡地管理の状況

○消滅した93集落の跡地では、管理がなされ良好な環境が保たれているのは全体の約4分の1に留まり、荒廃ないしやや荒廃する集落が約6割を占める。

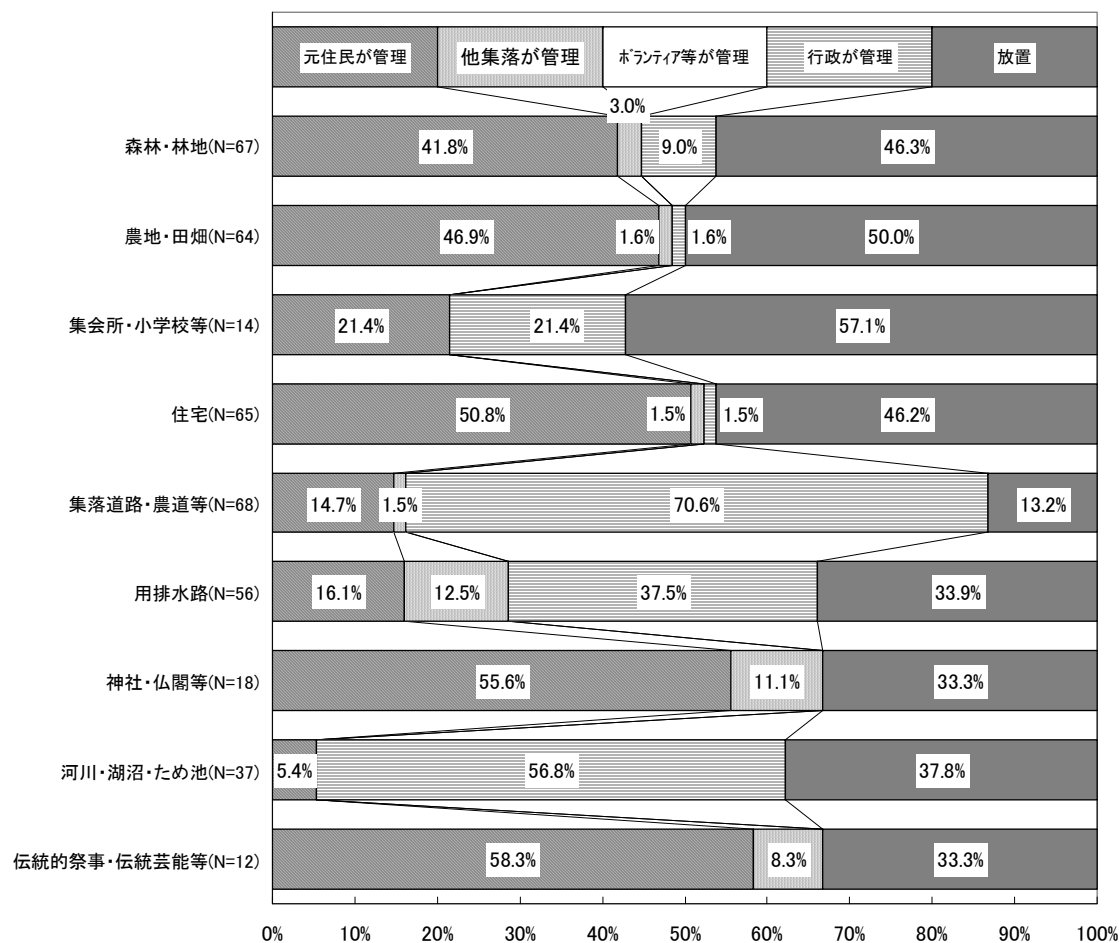
地方ブロック別 消滅集落の跡地管理状況

	消滅した集落の跡地管理状況				計
	良好	やや荒廃	荒廃	不明・無回答	
1 北海道	2 (28.6%)	3 (42.9%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	7 (100.0%)
2 東北圏	5 (25.0%)	11 (55.0%)	1 (5.0%)	3 (15.0%)	20 (100.0%)
3 首都圏	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)
4 北陸圏	1 (25.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)
5 中部圏	0 (0.0%)	4 (44.4%)	4 (44.4%)	1 (11.1%)	9 (100.0%)
6 近畿圏	1 (25.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)
7 中国圏	7 (41.2%)	6 (35.3%)	1 (5.9%)	3 (17.6%)	17 (100.0%)
8 四国圏	2 (15.4%)	7 (53.8%)	2 (15.4%)	2 (15.4%)	13 (100.0%)
9 九州圏	5 (29.4%)	12 (70.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	17 (100.0%)
10 沖縄県	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
合計	24 (25.8%)	49 (52.7%)	11 (11.8%)	9 (9.7%)	93 (100.0%)

消滅集落跡地の主な地域資源の管理状況

- 管理の主体をみると、住宅や農地・田畑、森林・林地については元住民が、集落道路・農道等や河川・湖沼・ため池、用排水路等については行政が、それぞれ管理している割合が高い。
- 一方で、放置されている森林・林地や農地・田畑等も多い。

消滅した集落の跡地の資源管理状況

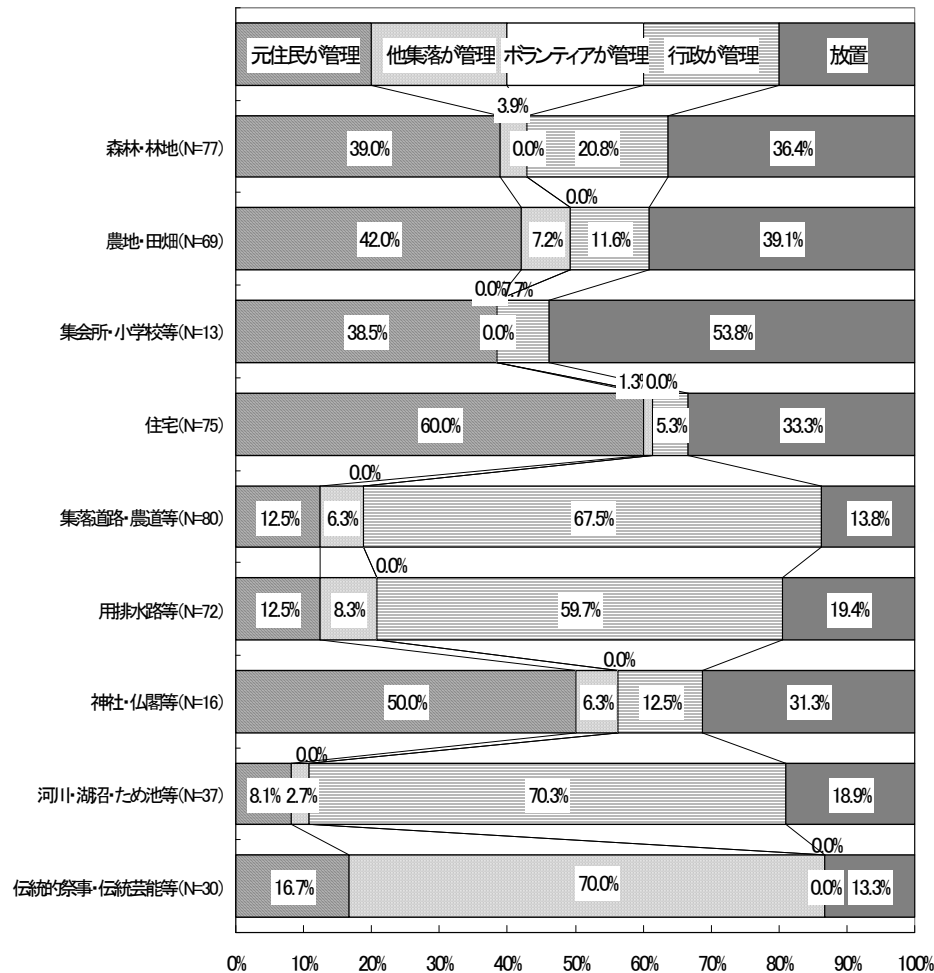


※ 93集落の属性

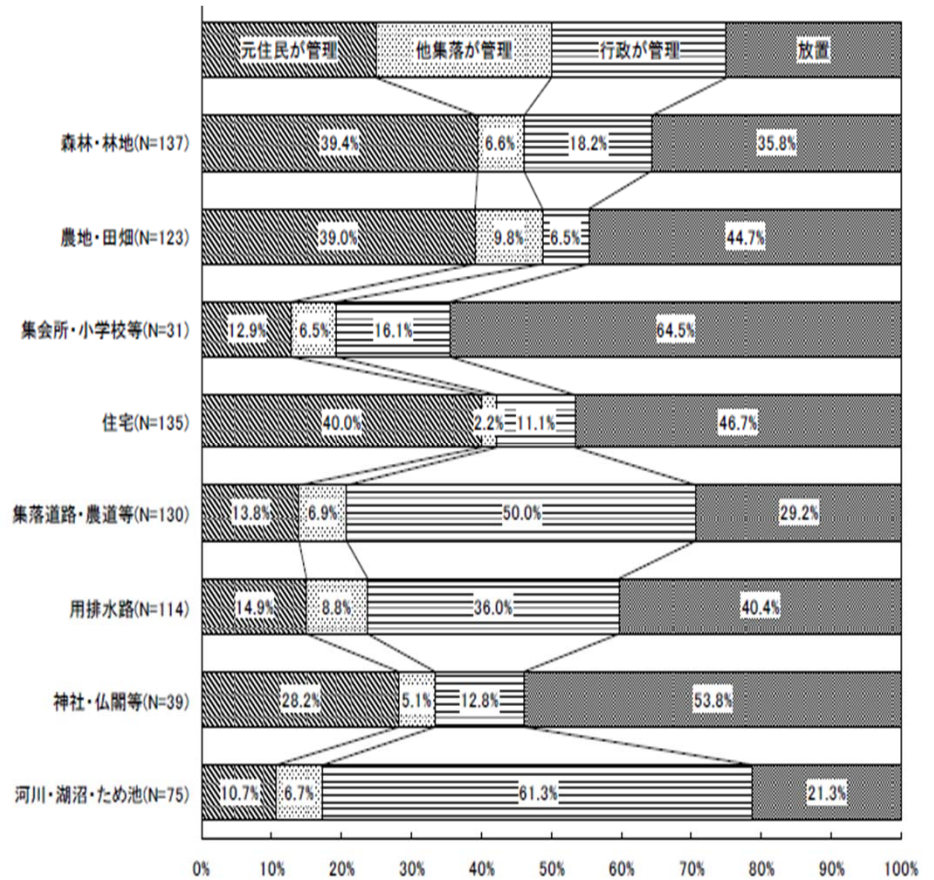
H18までに消滅していた集落の跡地管理の状況

○平成18年以降に消滅した集落の管理状況と同様の傾向がみられるが、伝統的祭事・伝統芸能等については、他集落により維持されている割合が高い。前回調査と同様に、ボランティアによる管理は見られなかった。

H18までに消滅した集落の跡地管理状況



(参考:前回集計)



※ 191集落のうちそれぞれ無回答を除いた集落の状況

今後の集落機能の維持・再編成の見通し

- 今後10年間での集落機能の維持・再編成の見通しについて、何らかの方策を予定している市町村が数多く見られ、行政的再編を予定する市町村もみられる。
- 前回調査に比べて、周辺の基礎集落間の相互補完や中心・基幹集落の強化といった現在の集落の形を維持しつつ、集落機能の維持・再編成を考える市町村の割合が増加している。

今後の集落機能の維持・再編成予定の有無 (複数回答可)

	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
1.中心・基幹集落の強化	31	3.9%	17	2.2%
2.周辺の基礎集落間の相互補完	110	13.8%	59	7.6%
3.新たな広域的組織づくり	53	6.6%	56	7.2%
4.民間やNPOを活用した機能補完	37	4.6%	19	2.5%
5.行政的再編を予定	56	7.0%	97	12.5%
6.空間的移転を予定	8	1.0%	7	0.9%
7.予定はない	551	68.9%	496	64.0%

■ : 前回より回答割合が増加した項目

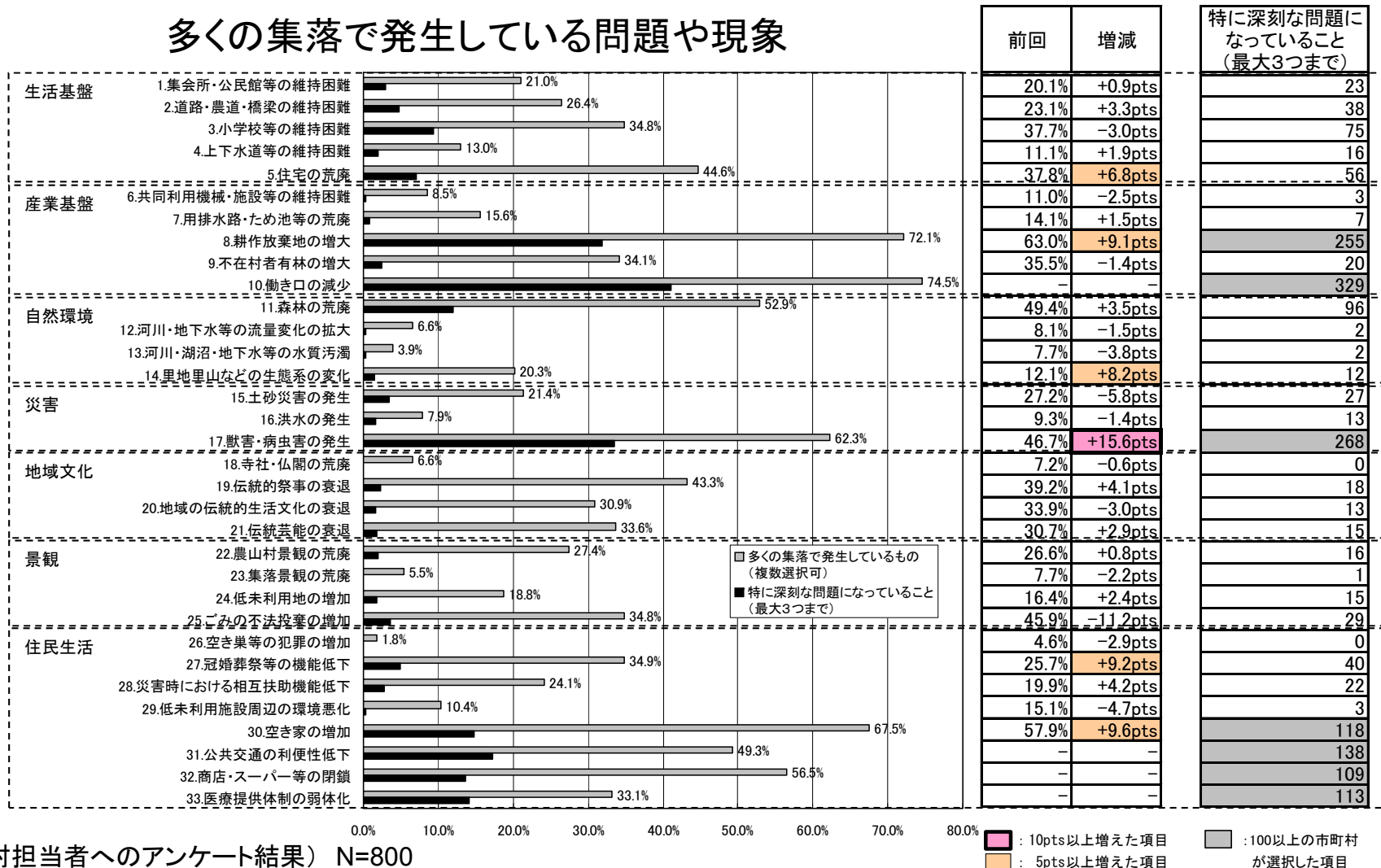
(市町村担当者へのアンケート結果) N=800

集落での問題の発生状況

○過疎地域等で発生している問題や現象について全国的な傾向を見ると、7割を超える市町村で働き口の減少や耕作放棄地の増大が指摘されているほか、空き家の増加、獣害・病虫害の発生なども高い割合となっている。

○前回調査に比べて、獣害・病虫害の発生が多く取り上げられている一方で、ごみの不法投棄は大幅に減少している。

多くの集落で発生している問題や現象



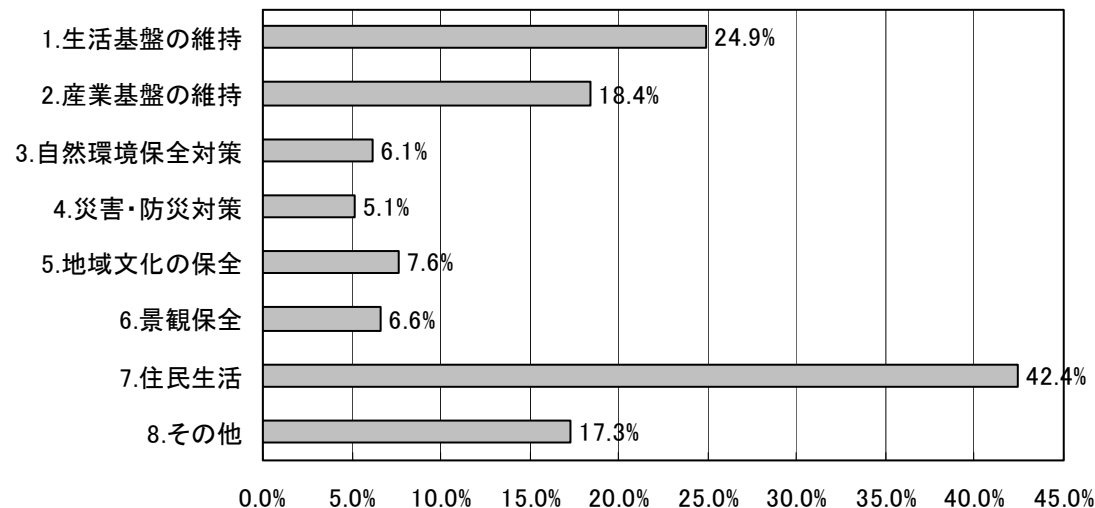
(市町村担当者へのアンケート結果) N=800

: 10pts以上増えた項目
 : 5pts以上増えた項目
 : 100以上の市町村が選択した項目

過疎法改正に伴い新たに取組む集落対策に係るソフト事業の状況

○今回の過疎法改正に伴い新たに取り組んでいる(取り組む予定の)、あるいは、強化を図った(図る予定の)ソフト事業については、住民生活に関する事業が最も多く挙げられており、次いで、生活基盤の維持や産業基盤の維持が多い。

過疎法改正に伴う集落対策に係るソフト事業の予定・状況(最大3つまで)



事業の例

(市町村担当者へのアンケート結果) N=800

- 空家バンク整備事業、デマンドタクシー整備、地域医療維持事業、地区営店舗整備事業
- 特産品の開発、直売所、起業化支援事業、企業誘致奨励事業
- 鳥獣害対策事業、里山整備事業、ホタルの住める環境整備事業、馬による荒廃森林の整備
- 救急医療体制の充実、地域自主防災促進事業
- 伝統芸能承継支援、住民自治組織による史跡保存整備事業
- 耕作放棄地の解消、農村集落景観保全、花いっぱい運動、棚田景観保全事業
- 地域コミュニティ再生事業、自治会組織活動助成事業、集落合併協議会設置補助金交付事業

前回調査時からの人口の変化

※P21～26における前回調査との比較については、経年比較を的確に行うため、前回調査以降に再編を行っていない59,314集落(新たに調査対象となった集落を除く)により行っている。

- 前回調査からの4年間で、人口が減少した集落が約8割を占めている。
- 特に、北海道、四国圏で減少傾向が強い一方、沖縄県では減少傾向が小さい。

地方ブロック別の前回調査時からの人口増減(割合)

	前回調査時からの人口増減										計
	20%超減少	10%超減少	5%超減少	5%以下の減少	増減なし	5%未満の増加	5%以上増加	10%以上増加	20%以上増加	無回答	
北海道	419 (11.2%)	1,080 (28.8%)	941 (25.1%)	558 (14.9%)	131 (3.5%)	221 (5.9%)	118 (3.1%)	86 (2.3%)	72 (1.9%)	127 (3.4%)	3,753 (100.0%)
東北圏	748 (6.0%)	2,950 (23.7%)	3,986 (32.0%)	2,688 (21.6%)	381 (3.1%)	832 (6.7%)	382 (3.1%)	215 (1.7%)	222 (1.8%)	42 (0.3%)	12,446 (100.0%)
首都圏	183 (8.3%)	528 (23.9%)	618 (28.0%)	361 (16.3%)	74 (3.3%)	139 (6.3%)	53 (2.4%)	44 (2.0%)	17 (0.8%)	194 (8.8%)	2,211 (100.0%)
北陸圏	128 (7.7%)	476 (28.7%)	479 (28.9%)	302 (18.2%)	78 (4.7%)	96 (5.8%)	43 (2.6%)	33 (2.0%)	23 (1.4%)	1 (0.1%)	1,659 (100.0%)
中部圏	315 (8.7%)	997 (27.6%)	998 (27.7%)	624 (17.3%)	165 (4.6%)	238 (6.6%)	94 (2.6%)	87 (2.4%)	82 (2.3%)	9 (0.2%)	3,609 (100.0%)
近畿圏	222 (7.6%)	749 (25.6%)	839 (28.6%)	498 (17.0%)	86 (2.9%)	170 (5.8%)	87 (3.0%)	53 (1.8%)	38 (1.3%)	187 (6.4%)	2,929 (100.0%)
中国圏	1,123 (9.6%)	3,148 (26.8%)	2,833 (24.1%)	1,848 (15.7%)	705 (6.0%)	807 (6.9%)	494 (4.2%)	402 (3.4%)	302 (2.6%)	79 (0.7%)	11,741 (100.0%)
四国圏	664 (10.5%)	1,809 (28.6%)	1,532 (24.2%)	988 (15.6%)	318 (5.0%)	455 (7.2%)	211 (3.3%)	171 (2.7%)	120 (1.9%)	54 (0.9%)	6,322 (100.0%)
九州圏	1,241 (8.6%)	3,827 (26.7%)	3,810 (26.5%)	2,639 (18.4%)	529 (3.7%)	1,067 (7.4%)	542 (3.8%)	355 (2.5%)	322 (2.2%)	23 (0.2%)	14,355 (100.0%)
沖縄県	12 (4.2%)	58 (20.1%)	71 (24.6%)	72 (24.9%)	7 (2.4%)	36 (12.5%)	13 (4.5%)	15 (5.2%)	5 (1.7%)	0 (0.0%)	289 (100.0%)
合計	5,055 (8.5%)	15,622 (26.3%)	16,107 (27.2%)	10,578 (17.8%)	2,474 (4.2%)	4,061 (6.8%)	2,037 (3.4%)	1,461 (2.5%)	1,203 (2.0%)	716 (1.2%)	59,314 (100.0%)

	50%超減少	25%超減少	10%超減少	10%以下の減少	増減なし	10%未満の増加	10%以上増加	25%以上増加	50%以上増加	無回答	計
前回調査(H9-18)	768 (1.6%)	7,154 (14.7%)	19,261 (39.6%)	11,680 (24.0%)	4,792 (9.8%)	1,987 (4.1%)	767 (1.6%)	515 (1.1%)	1,765 (3.6%)	48,689 (100.0%)	

:各人口増減率において割合が最も高い地方ブロック
 :各人口増減率において割合が2番目に高い地方ブロック

前回調査時からの世帯数の変化

- 世帯数が変わらない集落が約2割存在する。
- 10%超の減少傾向は、北海道、中国圏、四国圏、九州圏で傾向が強い。

地方ブロック別の前回調査時からの世帯数増減

	前回調査時からの世帯数増減										
	20%超 減少	10%超 減少	5%超 減少	5%以下の 減少	増減 なし	5%未満の 増加	5%以上 増加	10%以上 増加	20%以上 増加	無回答	計
北海道	244 (6.5%)	414 (11.0%)	546 (14.5%)	626 (16.7%)	574 (15.3%)	443 (11.8%)	378 (10.1%)	251 (6.7%)	151 (4.0%)	126 (3.4%)	3,753 (100.0%)
東北圏	662 (5.3%)	768 (6.2%)	1,687 (13.6%)	2,589 (20.8%)	2,615 (21.0%)	2,077 (16.7%)	1,171 (9.4%)	508 (4.1%)	326 (2.6%)	43 (0.3%)	12,446 (100.0%)
首都圏	103 (4.7%)	172 (7.8%)	307 (13.9%)	369 (16.7%)	357 (16.1%)	318 (14.4%)	229 (10.4%)	121 (5.5%)	41 (1.9%)	194 (8.8%)	2,211 (100.0%)
北陸圏	59 (3.6%)	150 (9.0%)	252 (15.2%)	299 (18.0%)	426 (25.7%)	240 (14.5%)	118 (7.1%)	72 (4.3%)	42 (2.5%)	1 (0.1%)	1,659 (100.0%)
中部圏	147 (4.1%)	381 (10.6%)	552 (15.3%)	635 (17.6%)	723 (20.0%)	476 (13.2%)	368 (10.2%)	203 (5.6%)	115 (3.2%)	9 (0.2%)	3,609 (100.0%)
近畿圏	121 (4.1%)	261 (8.9%)	418 (14.3%)	516 (17.6%)	414 (14.1%)	430 (14.7%)	264 (9.0%)	191 (6.5%)	81 (2.8%)	233 (8.0%)	2,929 (100.0%)
中国圏	728 (6.2%)	1,296 (11.0%)	1,741 (14.8%)	1,325 (11.3%)	3,013 (25.7%)	1,105 (9.4%)	1,213 (10.3%)	813 (6.9%)	424 (3.6%)	83 (0.7%)	11,741 (100.0%)
四国圏	320 (5.1%)	762 (12.1%)	913 (14.4%)	898 (14.2%)	1,232 (19.5%)	751 (11.9%)	737 (11.7%)	441 (7.0%)	214 (3.4%)	54 (0.9%)	6,322 (100.0%)
九州圏	811 (5.6%)	1,384 (9.6%)	2,078 (14.5%)	2,615 (18.2%)	2,218 (15.5%)	2,186 (15.2%)	1,546 (10.8%)	927 (6.5%)	547 (3.8%)	43 (0.3%)	14,355 (100.0%)
沖縄県	3 (1.0%)	10 (3.5%)	33 (11.4%)	50 (17.3%)	18 (6.2%)	73 (25.3%)	44 (15.2%)	20 (6.9%)	11 (3.8%)	27 (9.3%)	289 (100.0%)
合計	3,198 (5.4%)	5,598 (9.4%)	8,527 (14.4%)	9,922 (16.7%)	11,590 (19.5%)	8,099 (13.7%)	6,068 (10.2%)	3,547 (6.0%)	1,952 (3.3%)	813 (1.4%)	59,314 (100.0%)

	50%超 減少	25%超 減少	10%超 減少	10%以下の 減少	増減 なし	10%未満の 増加	10%以上 増加	25%以上 増加	50%以上 増加	無回答	計
前回調査 (H9-18)	387 (0.8%)	2,043 (4.2%)	9,242 (19.0%)	13,928 (28.6%)	14,894 (30.6%)	3,947 (8.1%)	1,390 (2.9%)	914 (1.9%)	1,944 (4.0%)	48,689 (100.0%)	

- : 各世帯増減率において割合が最も高い地方ブロック
- : 各世帯増減率において割合が2番目に高い地方ブロック

人口規模別集落数・世帯規模別集落数

○中国圏・四国圏には人口規模・世帯規模が小さな集落が多く、沖縄県には人口規模・世帯規模が大きな集落が多い。

○前回調査と比べて、50人未満の小規模集落が増加している。

人口規模別集落数(圏域別)

	集落の人口規模(人)									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
北海道	112 (3.0%)	305 (8.1%)	648 (17.3%)	776 (20.7%)	742 (19.8%)	641 (17.1%)	270 (7.2%)	240 (6.4%)	19 (0.5%)	3,753 (100.0%)
東北圏	169 (1.4%)	465 (3.7%)	1,225 (9.8%)	2,980 (23.9%)	3,627 (29.1%)	3,011 (24.2%)	730 (5.9%)	231 (1.9%)	8 (0.1%)	12,446 (100.0%)
首都圏	27 (1.2%)	114 (5.2%)	317 (14.3%)	501 (22.7%)	475 (21.5%)	408 (18.5%)	102 (4.6%)	42 (1.9%)	225 (10.2%)	2,211 (100.0%)
北陸圏	75 (4.5%)	134 (8.1%)	224 (13.5%)	479 (28.9%)	463 (27.9%)	227 (13.7%)	53 (3.2%)	4 (0.2%)	0 (0.0%)	1,659 (100.0%)
中部圏	149 (4.1%)	322 (8.9%)	626 (17.3%)	865 (24.0%)	830 (23.0%)	606 (16.8%)	157 (4.4%)	53 (1.5%)	1 (0.0%)	3,609 (100.0%)
近畿圏	70 (2.4%)	201 (6.9%)	393 (13.4%)	661 (22.6%)	848 (29.0%)	561 (19.2%)	129 (4.4%)	61 (2.1%)	5 (0.2%)	2,929 (100.0%)
中国圏	456 (3.9%)	1,574 (13.4%)	3,117 (26.5%)	3,313 (28.2%)	1,922 (16.4%)	916 (7.8%)	262 (2.2%)	86 (0.7%)	95 (0.8%)	11,741 (100.0%)
四国圏	358 (5.7%)	723 (11.4%)	1,366 (21.6%)	1,659 (26.2%)	1,303 (20.6%)	740 (11.7%)	123 (1.9%)	43 (0.7%)	7 (0.1%)	6,322 (100.0%)
九州圏	262 (1.8%)	997 (6.9%)	2,078 (14.5%)	3,458 (24.1%)	3,709 (25.8%)	2,893 (20.2%)	717 (5.0%)	199 (1.4%)	42 (0.3%)	14,355 (100.0%)
沖縄県	3 (1.0%)	2 (0.7%)	6 (2.1%)	22 (7.6%)	64 (22.1%)	118 (40.8%)	53 (18.3%)	21 (7.3%)	0 (0.0%)	289 (100.0%)
全国	1,681 (2.8%)	4,837 (8.2%)	10,000 (16.9%)	14,714 (24.8%)	13,983 (23.6%)	10,121 (17.1%)	2,596 (4.4%)	980 (1.7%)	402 (0.7%)	59,314 (100.0%)

■ : 各圏域において該当割合が最も大きい人口規模
 ■ : 各圏域において該当割合が2番目に大きい人口規模

<前回>										
全国	1,321 (2.2%)	4,100 (6.9%)	9,097 (15.3%)	14,702 (24.8%)	14,581 (24.6%)	10,930 (18.4%)	2,829 (4.8%)	1,042 (1.8%)	712 (1.2%)	59,314 (100.0%)
比較	+ 360	+ 737	+ 903	+ 12	- 598	- 809	- 233	- 62	- 310	+ 0
H18-H22	+0.6pts	+1.2pts	+1.5pts	-0.1pts	-1.1pts	-1.5pts	-0.4pts	-0.1pts		

世帯規模別集落数(圏域別)

	集落の世帯規模(世帯)									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
北海道	420 (11.2%)	660 (17.6%)	439 (11.7%)	522 (13.9%)	622 (16.6%)	443 (11.8%)	369 (9.8%)	233 (6.2%)	45 (1.2%)	3,753 (100.0%)
東北圏	733 (5.9%)	1,822 (14.6%)	1,831 (14.7%)	2,657 (21.3%)	2,786 (22.4%)	1,471 (11.8%)	656 (5.3%)	122 (1.0%)	368 (3.0%)	12,446 (100.0%)
首都圏	134 (6.1%)	360 (16.3%)	308 (13.9%)	403 (18.2%)	370 (16.7%)	278 (12.6%)	105 (4.7%)	28 (1.3%)	225 (10.2%)	2,211 (100.0%)
北陸圏	191 (11.5%)	307 (18.5%)	292 (17.6%)	389 (23.4%)	332 (20.0%)	114 (6.9%)	30 (1.8%)	4 (0.2%)	0 (0.0%)	1,659 (100.0%)
中部圏	419 (11.6%)	694 (19.2%)	555 (15.4%)	732 (20.3%)	694 (19.2%)	325 (9.0%)	164 (4.5%)	25 (0.7%)	1 (0.0%)	3,609 (100.0%)
近畿圏	187 (6.4%)	405 (13.8%)	431 (14.7%)	646 (22.1%)	722 (24.7%)	341 (11.6%)	149 (5.1%)	43 (1.5%)	5 (0.2%)	2,929 (100.0%)
中国圏	1,815 (15.5%)	3,410 (29.0%)	2,077 (17.7%)	1,919 (16.3%)	1,334 (11.4%)	595 (5.1%)	286 (2.4%)	72 (0.6%)	233 (2.0%)	11,741 (100.0%)
四国圏	821 (13.0%)	1,381 (21.8%)	1,080 (17.1%)	1,216 (19.2%)	1,110 (17.6%)	509 (8.1%)	174 (2.8%)	31 (0.5%)	0 (0.0%)	6,322 (100.0%)
九州圏	1,080 (7.5%)	2,029 (14.1%)	1,891 (13.2%)	3,013 (21.0%)	3,398 (23.7%)	1,913 (13.3%)	830 (5.8%)	134 (0.9%)	67 (0.5%)	14,355 (100.0%)
沖縄県	3 (1.0%)	5 (1.7%)	6 (2.1%)	23 (8.0%)	70 (24.2%)	86 (29.8%)	83 (28.7%)	13 (4.5%)	0 (0.0%)	289 (100.0%)
全国	5,803 (9.8%)	11,073 (18.7%)	8,910 (15.0%)	11,520 (19.4%)	11,438 (19.3%)	6,075 (10.2%)	2,846 (4.8%)	705 (1.2%)	944 (1.6%)	59,314 (100.0%)

■ : 各圏域において該当割合が最も大きい人口規模
 ■ : 各圏域において該当割合が2番目に大きい人口規模

<前回>										
全国	5,336 (9.0%)	10,935 (18.4%)	9,011 (15.2%)	11,717 (19.8%)	11,772 (19.8%)	6,161 (10.4%)	2,903 (4.9%)	672 (1.1%)	807 (1.4%)	59,314 (100.0%)
比較	+ 467	+ 138	- 101	- 197	- 334	- 86	- 57	+ 33	+ 137	+ 0
H18-H22	+0.8pts	+0.3pts	-0.1pts	-0.3pts	-0.5pts	-0.1pts	-0.1pts	+0.1pts		

※ 前回との比較においては、「無回答」を除いたシェアの増減を表記している。

集落の高齢者割合

- 人口の過半が高齢者である集落は、前回調査時よりも増加した。
- 数としては中国圏・九州圏・四国圏で多いが、占める割合は四国圏・中部圏・中国圏において高い。
- 前回と比べて、全体的に高齢者が過半を占める集落の割合は高まっているが、特に中部圏や北陸圏、四国圏で割合が高まっている。

集落における高齢者(65歳以上)割合別分類

	集落人口に対する高齢者(65歳以上)割合				
	50%以上	うち100%	50%未満	無回答	合計
北海道	441 (11.8%)	23 (0.6%)	3,224 (85.9%)	88 (2.3%)	3,753 (100.0%)
東北圏	912 (7.3%)	59 (0.5%)	11,357 (91.3%)	177 (1.4%)	12,446 (100.0%)
首都圏	286 (12.9%)	11 (0.5%)	1,560 (70.6%)	365 (16.5%)	2,211 (100.0%)
北陸圏	319 (19.2%)	32 (1.9%)	1,340 (80.8%)	0 (0.0%)	1,659 (100.0%)
中部圏	822 (22.8%)	38 (1.1%)	2,740 (75.9%)	47 (1.3%)	3,609 (100.0%)
近畿圏	538 (18.4%)	25 (0.9%)	2,323 (79.3%)	68 (2.3%)	2,929 (100.0%)
中国圏	2,564 (21.8%)	147 (1.3%)	9,040 (77.0%)	137 (1.2%)	11,741 (100.0%)
四国圏	1,687 (26.7%)	125 (2.0%)	4,630 (73.2%)	5 (0.1%)	6,322 (100.0%)
九州圏	2,043 (14.2%)	89 (0.6%)	12,242 (85.3%)	70 (0.5%)	14,355 (100.0%)
沖縄県	14 (4.8%)	0 (0.0%)	266 (92.0%)	9 (3.1%)	289 (100.0%)
合計	9,626 (16.2%)	549 (0.9%)	48,722 (82.1%)	966 (1.6%)	59,314 (100.0%)

前回調査

	集落人口に対する高齢者(65歳以上)割合				
	50%以上	うち100%	50%未満	無回答	合計
北海道	273 (7.3%)	17 (0.5%)	3,353 (89.3%)	127 (3.4%)	3,753 (100.0%)
東北圏	688 (5.5%)	31 (0.2%)	11,716 (94.1%)	42 (0.3%)	12,446 (100.0%)
首都圏	235 (10.6%)	6 (0.3%)	1,782 (80.6%)	194 (8.8%)	2,211 (100.0%)
北陸圏	213 (12.8%)	21 (1.3%)	1,445 (87.1%)	1 (0.1%)	1,659 (100.0%)
中部圏	548 (15.2%)	36 (1.0%)	3,052 (84.6%)	9 (0.2%)	3,609 (100.0%)
近畿圏	415 (14.2%)	19 (0.6%)	2,327 (79.4%)	187 (6.4%)	2,929 (100.0%)
中国圏	2,113 (18.0%)	122 (1.0%)	9,549 (81.3%)	79 (0.7%)	11,741 (100.0%)
四国圏	1,287 (20.4%)	73 (1.2%)	4,981 (78.8%)	54 (0.9%)	6,322 (100.0%)
九州圏	1,524 (10.6%)	54 (0.4%)	12,808 (89.2%)	23 (0.2%)	14,355 (100.0%)
沖縄県	13 (4.5%)	1 (0.3%)	276 (95.5%)	0 (0.0%)	289 (100.0%)
合計	7,309 (12.3%)	380 (0.6%)	51,289 (86.5%)	716 (1.2%)	59,314 (100.0%)


- : 各高齢者区分において該当集落数の割合が最も高い地方ブロック
- : 各高齢者区分において該当集落数の割合が2番目に高い地方ブロック

前回調査時からの集落機能維持状況の変化

- 集落機能の維持状況の変化についてみると、前回調査で「良好」と回答していたものの、今回調査では「機能低下」と回答している集落が1,000集落以上ある。
- 一方、「機能低下」だったものが「良好」に、「維持困難」だったものが「機能低下」になるなど、やや改善が見られている集落もある。

前回調査時と現在における集落機能の維持状況の変化

集落機能の維持状況		H22の維持状況				
		1. 良好	2. 機能低下	3. 維持困難	4. 無回答	総計
H18の維持状況	1. 良好	48,740 (95.9%)	1,354 (2.7%)	131 (0.3%)	576 (1.1%)	50,801 (100.0%)
	2. 機能低下	430 (8.1%)	4,628 (86.8%)	216 (4.1%)	57 (1.1%)	5,331 (100.0%)
	3. 維持困難	162 (6.0%)	244 (9.1%)	2,281 (84.7%)	7 (0.3%)	2,694 (100.0%)
	4. 無回答	356 (73.0%)	99 (20.3%)	2 (0.4%)	31 (6.4%)	488 (100.0%)
	総計	49,688 (83.8%)	6,325 (10.7%)	2,630 (4.4%)	671 (1.1%)	59,314 (100.0%)


 前回調査の集落機能維持状況において今回調査の機能維持状況の割合が最も大きい区分

今後の消滅可能性についての見通しの変化

- 今後の消滅可能性についての見通しについてみると、前回調査で「消滅の可能性はない」と回答した集落が今回調査で「いずれ消滅」へと変化した集落が400集落以上ある。また、「いずれ消滅」から「10年以内に消滅」に変化したものも100集落ある。
- 一方で、前回調査で「いずれ消滅」と回答し、今回調査で「消滅の可能性はない」と回答した集落も100集落以上みられる。

今後の消滅可能性の変化

今後の消滅可能性		H22の見通し				
		1.10年以内に消滅	2.いずれ消滅	3.消滅の可能性はない	4.無回答	総計
H18の見通し	1.10年以内に消滅	287 (79.5%)	61 (16.9%)	8 (2.2%)	5 (1.4%)	361 (100.0%)
	2.いずれ消滅	100 (5.0%)	1,678 (84.6%)	163 (8.2%)	42 (2.1%)	1,983 (100.0%)
	3.消滅の可能性はない	36 (0.1%)	421 (0.8%)	44,828 (90.0%)	4,547 (9.1%)	49,832 (100.0%)
	4.無回答	16 (0.2%)	106 (1.5%)	3,871 (54.2%)	3,145 (44.1%)	7,138 (100.0%)
	総計	439 (0.7%)	2,266 (3.8%)	48,870 (82.4%)	7,739 (13.0%)	59,314 (100.0%)

 前回調査の今後の消滅可能性の区分において今回調査の消滅可能性の割合が最も大きい区分

過疎地域等における集落の現状・今後の対策

本調査においては、「過疎地域における集落の現況把握調査研究会」を開催し、調査結果やその分析方法等について意見交換を行った。当該研究会での議論等を整理すると、以下のとおりである。

○集落の現状

前回調査から4年の間に、人口50人未満の小規模集落の占める割合が増えるとともに高齢者(65歳以上)割合が50%以上の集落も増加し、今後の人口動向の見通しについても悪化している。一方で、資源管理機能や生活扶助機能等の集落機能を維持する主体は大きく変わらず、機能自体も維持されている傾向がある。

○今後の対策

財政状況は厳しく、著しい人口減少と高齢化の進展など様々な問題に直面している過疎地域において、山積する課題解決に向けて、必要な社会的サービスを効果的に提供するためには、行政が地域の実態をきめ細かくしっかりと把握することが前提となる。

前回調査において、集落に対する「目配り」の必要性についてとりまとめられ、その後、集落支援員制度も設けられたが、本調査においても十分に目配りがされていない事例が確認された。したがって、行政だけではなく集落支援員やNPO等との連携の下で「目配り」を強化し、集落の実態や集落機能の維持状況、さらには住民の意向などを把握していくことが肝要である。

集落支援員や地域おこし協力隊などを活用しながら、地域住民やNPO、地域活動団体等、様々な主体と行政が連携して取組を展開していくための新たな働きかけが必要である。そのためには、まずは地域の将来像を共有し、その実現に向けた互いの役割や責任について共通認識と合意形成を図ることが出発点となる。その上で、従来の対策の成果を正しく評価し、残された課題等をこれまで以上に十分把握して効果的な対策を講じることが重要である。

多くの集落で今後も人口減少及び高齢化が進むと予測され、山間地や地形的末端にある集落など条件の厳しい集落を中心に、10年以内に消滅の可能性があると考えられた集落が454ある。消滅した集落では災害の危険性が高まったり、景観が阻害されたりすることも想定される。過疎地域は、安全・安心な食料や水の供給、エネルギーの提供、国土の保全、災害の防止、地球温暖化の防止等はもとより、都市住民への安らぎや教育の提供の場として公益的機能を有しており、こうした多面的な観点からも、取組の展開が必要である。